※令和3年度以前入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　理　　科

教科	理科	科目	物理 【総合学科(高入理数＋ロボ)】	単位数	4　単位	年次	3　年次
使用教科書	高等学校　物理　（第一学習社）						
副教材等	改訂　スタディノート　物理　　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

・本講座は、「総合学科の理数系列-中入生」以外を対象としており、前年度までに、物理基礎(2単位)を履修していることを条件としています。物理基礎の内容理解が不十分な人は、しっかり復習をするようにしてください。
・授業用のノートについては、プリントなどの配付物を貼り付けて整理するようにしてください。また、板書を書き写すだけでなく、気づいたことなどをノートの枠外などに記入するようにしましょう。
・問題集用のノートを別途用意し、学習した単元については、日頃から積極的に問題に取り組むようにしてください。

2　学習の到達目標

・「物理基礎」の内容の理解を深め、本講座では、「物理」について学習し知識を身につける。
・物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につける。
・抽象的な問題に対しても、自発的に取り組み、発展的に物事に対処する能力の育成をめざします。

3　学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	物理学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探求しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	物理学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・授業、実験への取り組み ・提出物	・定期テスト ・課題	・定期テスト ・確認テスト ・実験	・定期テスト ・確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	運動とエネルギー	◇剛体のつりあい ◇運動量の保存 ◇円運動と単振動 ◇気体の性質と分子の運動	○	○	○	○	a:物体の運動について関心を高めようとしている。 b:物体の運動について基本となる原理を推察し、文章や数式などで表現している。 c:物体の運動を探究するための実験技能を身につけている。 d:物体の運動についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、知識を身につけている。	・定期テスト ・確認テスト ・授業プリント ・実験プリント ・問題集 ・提出課題 ・授業 へ取り組み状況で判断
2	波動	◇波の性質 ◇音波 ◇光波	○	○	○	○	a:波動現象について関心を高めようとしている。 b:波動現象について基本となる原理を推察し、文章や数式などで表現している。 c:波動現象を探究するための実験技能を身につけている。 d:波動現象についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、知識を身につけている。	
2	電気と磁気	◇電場と電位 ◇電流 ◇電流と磁場 ◇電磁誘導と交流	○	○		○	a:電気と磁気について関心を高めようとしている。 b:電気と磁気について基本となる原理を推察し、文章や数式などで表現している。 c:電気と磁気を探究するための実験技能を身につけている。 d:電気と磁気についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、知識を身につけている。	
3	原子	◇電子と光 ◇原子と原子核	○			○	a:原子について関心を高めようとしている。 b:原子について基本となる原理を推察し、文章や数式などで表現している。 c:原子を探究するための実験技能を身につけている。 d:原子についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、知識を身につけている。	
3	実践演習	◇状況に応じて、入試問題(共通テストを中心)を解く力を養成する。		○		○	a:物理の単元を超えて、関心を高めようとしている。 b:物理の単元を超えて、基本となる原理を推察し、文章や数式などで表現している。 c:物理の単元を超えて、問題解決する技能を身につけている。 d:物理の単元を超えて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、知識を身につけている。	・演習問題 (模擬試験) ・授業 へ取り組み状況で判断

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現

c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○をつけている。